日本語教育文法ワークショップ

募集要項

■概要

日本語教師を目指したい方のために、日本語教育文法ワークショップを開講します。

「日本語を教えてみたいけど、外国語としての日本語の文法を勉強したことがない」「文法書は読んだけど教えるには不安」など、日本語教育文法の基礎を実践的に学びたい方におすすめです。

■対象

*岩手県、秋田県、山形県在住 のパソコンによる Zoom の受講が可能な方で、下記の ① ② ③ のいずれかに当てはまる方(申し込み多数の場合は③の方を優先します)。

- ①日本語教師を目指している方、日本語教育文法の知識を得て教えたいと考えている方
- ②現在、日本語学習支援をしている方
- ③5 月から開講予定の【なか東北連携】令和 5 年度地域日本語教育専門人材養成講座への参加を考えている方

※昨年度行われた地域日本語教育専門人材養成講座の様子

https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/area/education/002/20221120/

※昨年度行われた地域日本語教育専門人材養成講座の募集要項

https://www.y-ex.jp/extension/post-26.html

■開講形態

オンラインによる受講者参加型ワークショップです。

- ※全課程をリアルタイムで行い、見逃し配信はありません。
- ※一方的な講義形式ではありません。
- ※全回出席した方に修了証を発行します。

■開講日時

2023年4月2日・9日・16日・23日(全て日曜)

時間は全て 9:00~12:10 (90 分の講座を 1 日 2 回ずつ行います)

■受講料金

8,000円(全8回·計 12時間分)

※教科書購入費、インターネット通信料は、参加者の負担となります。

■定員

30 名程度(申し込み多数の場合は、受講をお断りする場合があります)

■教科書

※必ずご用意ください(各自、お買い求めください)

『使える日本語文法ガイドブック』ひつじ書房(1,760円) (↓「立ち読み」できます)

http://amzn.to/40QMmmv

■参考書

※特に日本語教師を目指す方には、下記のうち1冊をお手元に置くことをお勧めします。

- ・『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク(2,420円)
- ・『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク(2,200円)
- ・『場面とコミュニケーションでわかる日本語文法ハンドブック』ひつじ書房(3,960円)講座で使う教科書の詳細版
- ・『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版(3,630円)中級以上を教える人向け
- ・『A Dictionary of Basic Japanese Grammar』ジャパンタイムス (3,087円) 英語を使って教える人向け

■受講に際してお願いしたいこと【重要】

- ・全回、ご参加ください。
- ・受講者参加型のワークショップ形式で実施します。講師による解説もありますが、グループで課題の検討、検討結果の発表など、積極的に発言していただきます。
- ・教科書は必須です。第1回の講義日までにご自身でご用意ください。事前に教科書の該当章を読み、疑問点などを考えておいてください。
- ・グループワークでは、参加者全員のやりとりを通して学びを深めていただきます。Zoom のマイク・カメラが使用でき、発話できる環境でご参加ください。資料の配布を行うこともありますので、Zoom のチャット機能が使えることが望ましいです。パソコンでのご参加を強くお勧めします。

■スケジュール(予定)

·2023年4月2日(日)【担当講師:内海由美子(山形大学)】

第1回	9:00-10:30	Introduction:文法は必要? だれのため? Chapter OI:「マイちゃん 家 行った」は正しくないのですか
第2回	10:40-12:10	Chapter 02:「飲みますです」は正しくないのですか Chapter 03:「難しくないでした」は正しくないのですか

·2023年4月9日(日)【担当講師:今泉智子(山形大学)】

第3回	9:00-10:30	Chapter 04:人やものの説明がくわしくできます
第4回	10:40-12:10	Chapter 06:いつするか、いつしたか、くわしく説明できます

・2023年4月16日(日) 【担当講師:嶋ちはる(国際教養大学)】

第5回	9:00-10:30	Chapter I I:まだ終わっていないことがはっきり伝えられます
第6回	10:40-12:10	Chapter I 3:被害を受けたことがはっきり言えます

·2023年4月23日(日)【担当講師:仁科浩美(山形大学)】

第7回	9:00-10:30	Chapter 10:なぜなのかがうまく伝えられます
第8回	10:40-12:10	Chapter 14:丁寧に申し出てスムーズにコミュニケーションできます

■申込方法

募集要項の内容を確認した上で、以下 URL のフォームよりお申込みください。

https://www.y-ex.jp/extension/post-55.html 【応募締め切り:3月20日(月)AM8:30】

■後援

なか東北地域日本語教育専門人材養成協議会

■問合せ

内海由美子 (山形大学 学士課程基盤教育機構 教授)

yutsumi@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp (件名に【日本語 WS】と書いてください)

※【なか東北連携】について

岩手大学国際教育センター、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション研究科、山形大学学士課程基盤教育機構、公益財団法人岩手県国際交流協会、公益財団法人秋田県国際交流協会、山形市国際交流協会、特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカの 7 者での事業連携協定(「岩手県・秋田県・山形県におけるによる地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」)です。令和4年度には、「地域日本語教育専門人材養成講座」を開講し、3県で合計29名が修了しました。